

研究題目：理念浸透を目指す高齢者介護施設の施設長、リーダーの実践共同体の構築、運営に関する研究

## 参加者のみなさんへ

### 0. 研究協力の任意性と同意撤回の自由

今から、みなさんにご参加いただく研究の内容について、説明させていただきます。この文書は、研究担当者の説明を補い、みなさんの理解を深めていただくためのものですので、よく読まれたうえで、私が音声データやワークシートおよび実習プログラム実施シートなどの記述内容を研究に使用することに対し可否を検討してください。なお、音声データやワークシート等の記述内容の使用の可否を決めるのはみなさん個人の自由です。使用の許可をした後でも、いつでも自由にやめることができます。音声データやワークシート等の記述内容の使用を断ったとしても、また、途中で使用を断った場合でも不利益なことはありません。いずれの場合においても、使用を断ったあとの研修には参加し、ディスカッションやワークシート等の記入は行ってもらいます。そのため、ディスカッションの会話内容は録音されることとなりますが、あなたの会話内容は分析には使用しませんし、ワークシート等は私に提出する必要はありません。もちろん、使用を断る前の音声データのあなたの会話内容やワークシート等の記述内容も分析には使用しません。

なお、本研究は、関西大学 人間健康学部・人間健康研究科研究倫理委員会の承認を受けて実施します。

### 1. 研究実施体制

#### 1) 研究担当者 2) 研究責任者

関西大学 人間健康学部 教授 種橋 征子

#### 3) 研究協力者（研修の進め方の検討、グループワークのファシリテートを担います）

大阪府社会福祉協議会 老人施設部会 福祉介護人材対策プロジェクト

大阪府社会福祉協議会 青木 淳氏 どうみょうじ高殿苑 施設長 中本勝也氏

大阪老人ホーム 施設長 田中俊之氏 ハートピア堺 次長 光永直子氏

#### 4) 個人情報の管理責任者

関西大学 人間健康学部 教授 種橋 征子

#### 5) 記録等保存責任者

関西大学 人間健康学部 教授 種橋 征子

### 2. 研究の意義と目的について

社会福祉法人において理念経営が行われ、職員が定着し、質の高い支援を行っていけるようにするには、法人において職員全員に理念を浸透させることが必要です。しかし、社会福祉法人における理念の浸透策については定まった方法はありません。そこで、施設長やリーダー職員が施設における理念浸透の課題の共有と職員への理念の伝え方、概念化スキルを向上し、理念を体現できるように計画した研修に参加していただくことを通して、理念浸透を目指す職員が集い、互いに学び合い、支え合

う「実践共同体（Cop）」の構築方法及び運営のあり方や課題、実践共同体参加の効果を明らかにすることを目的にしています。

### 3. 研究の方法について

みなさんが各自の所属する施設において、理念を体現し、理念の伝播者となるように、理念浸透プログラムを5月から3月までの間、2ヶ月に1回実施します（別紙参照）。その際に行う演習（グループディスカッション）を録音させていただき、逐語録にし、内容分析を行います。その分析では、経験の言語化についてどういったところが難しいのか、理念に対する自身のどういった姿勢が職員の理念浸透を促進するのか、一連の研修を通してみなさんの理念に対する認識や言動の変化、および獲得すべき力を明らかにし、参加メンバー同士で学び合う実践共同体の構築につなげていきます。分析には、演習（ディスカッション）の音声データのほか、毎回の研修後に配布するワークシートや実習プログラム実施シート等の記述内容も使用します。なお、ワークシートは、研修の感想や学び、次回の研修を受けるにあたり、研修のテーマについて事前に考えをまとめていただくもので、設定した期日までにメールで提出していただきます。

### 4. この研究の研究実施期間

2025年5月～2026年3月

### 5. この研究に対象者として選ばれた理由

高齢者介護施設において、理念浸透を推進する立場である管理クラス、リーダークラス職員であること。

### 6. 研究に参加することで期待される利益

今回の研修会に参加されることで、みなさん自身が理念の実現に向け、施設において理念浸透を推進する力を身に着けることが出来ると考えています。

### 7. 研究に関する情報開示について

演習（ディスカッション）の音声データや逐語録、分析内容について確認したいことがある場合は下記の連絡先にご連絡下さい。内容を開示しご確認いただけます。また音声データや逐語録の中でデータから外したい情報や、分析内容の中で本来の意思と異なる箇所が含まれている場合はお知らせ下さい。データや分析内容の変更を行います。また変更したデータや分析内容もご確認いただけます。

### 8. 研究成果の公表について

1) 研究結果については、社会福祉、介護福祉に関する学会での口頭発表や論文投稿等による公表を行い

ます。また今後の理念浸透に関する研修等においても研究結果を使用します。

2) 研究結果の公表等の際には、みなさんの所属施設の理念を列挙することはありません。しかし、結果の一部として話された内容を示す場合などに、理念の文言が入ってしまうことがあります。そのため、法人（施設）名が外部に分かってしまう可能性があります。その場合でも、個人を匿名化（詳細は9に記載）しますので、個人が特定されることはありません。

## 9. 個人情報等の取扱、情報の保管および破棄の方法について

### 1) 収集する個人情報

研修内の演習（ディスカッション）は音声を IC レコーダで録音させていただき、逐語録を作成します。録音された音声データにはお名前や個人の体験などが含まれますが、逐語録や学会報告、論文では、氏名等の個人情報をアルファベット（イニシャルではなく、順に A~Z）を割り当て匿名化し、個人を特定されないようにします。またこれらの情報は研究等以外の目的で使われることはありません。

### 2) 個人情報の保管方法・保管場所

①収集した音声データや分析内容は、研究担当者のみがアクセスできる PC に、ウイルス対策ソフトでトラブル対策をした上で、パスワードをかけて保存します。

②音声データのバックアップを USB メモリに保存します。その USB メモリや記述されたワークシートは大学の個人情報の管理責任者の個人研究室の鍵のかかるキャビネットに保管し、鍵は個人情報の管理責任者自身が管理します。

### 3) 保管期間

音声データ、同意書、説明文書、および逐語録やワークシート等、分析内容は、研究終了後 10 年間保管します。その後紙媒体はシュレッダーで破棄し、音声データはデータ自体を削除します。

## 10. 利益相反について

今回の研修（本研究）を行うことで、研究担当者が大阪府社会福祉協議会老人施設部会から何らかの利益（報酬）を受けることはありません。また、開示すべき利益相反はありません。

## 11. 研究に対する問い合わせ・苦情等の連絡先

今回の研修の内容についてのお問い合わせは、以下にお願いいたします。

関西大学 人間健康学部 教授 種橋征子 メールアドレス : s-tane@kansai-u.ac.jp